

2025年度 和泉短期大学 シラバス【児童福祉学科】					
授業科目名 科目ナンバー	保育内容の総合的指導法「健康」		教員氏名	中山 恭一	
	Ⅲ-6-2-2 ①				
学年	1年		開講学期	後期	
授業形態	演習		単位数	1単位	
必修・選択	保育士・幼免必修		実務経験		
テーマ	幼稚園教育要領・保育所保育指針等に示された領域「健康」のねらい及び内容に基づいた、乳幼児期に育みたい資				
ディプロマ ポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				○
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラム ポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	○保育内容「健康」の学びを基に、育みたい資質・能力（「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」）の内容を踏まえた、現場に即した実践力を習得する。 ○育みたい資質・能力（「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」）の理解に基づき、疑似体験・企画運営・グループワーク・ICT等のアクティブラーニングでの活動を通して、主体的・対話的に学びを深める。 ○WHO及び子どもの権利条約に基づく、領域「健康」からの支援を学ぶ。 ○アクティブラーニングとして、対面授業と並行して実施する学生各自で作成した運動プログラムの実践から、栄養（食育も含む）・運動（身体活動及び遊び等）・休養（睡眠等）との関連性を学ぶ。またこれらの実践から、子ども達及び保護者への支援等を学ぶ。				
授業の 到達目標	1. 要領・指針等に示された領域「健康」のねらい及び内容に基づき、乳幼児期に育みたい資質・能力に沿った具体的指導法の実践を、多様な体験から学びを深めることができる。				
	2. 領域「健康」の内容を基に、子ども達の権利と個性を尊重する支援に配慮できる。				
	3. 心身の健康に関する様々な課題に対して、自ら必要な情報を収集及び分析をし、主体的・対話的な実践から、解決策・対応策を見出す姿勢を実施することができる。				
テキスト	保育内容 健康 あなたならどうしますか？ 萌文書林 2020 酒井幸子・松山洋平編				
参考書	・厚生労働省「保育所保育指針」・文部科学省「幼稚園教育要領」・内閣府「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」・文部科学省「幼児期運動指針」				
ポートフォリオ	指定された課題に取り組み、ポートフォリオに綴じる				
往還型授業 （双方向授業）	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				○
	ICT（グーグルクラスルーム含む）を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○
	その他： 特記事項なし				
成績評価方法	区分	割合（％）	内容		
	定期試験	0	実施しない		
	授業内課題 参加度 出席態度等	100	①授業への積極的参加：50％ ②課題への積極的取り組み：50％		
	その他				

授業概要と課題			
第1回	テーマ 内容	◎オリエンテーション ◎現代的課題を踏まえた、健康・安全・食に関する資質・能力の育成①【テーマ:健康・安全】プレーパークの概要の理解	
	授業外学習	①教科書と配布資料の振り返り ②関連する情報の収集 ③ICT教材の日常的な活用	55分
第2回	テーマ 内容	◎プレーパークでの遊び体験（フィールドワーク, グループワーク）	
	授業外学習	①教科書と配布資料の振り返り ②関連する情報の収集 ③ICT教材の日常的な活用	55分
第3回	テーマ 内容	◎プレーパークに関するPR活動及びイベント企画（ディスカッション, ICT）	
	授業外学習	①教科書と配布資料の振り返り ②関連する情報の収集 ③ICT教材の日常的な活用	55分
第4回	テーマ 内容	◎現代的課題を踏まえた、健康・安全・食に関する資質・能力の育成②【テーマ:食】こども食堂の概要を理解する（ディスカッション, グループワーク）	
	授業外学習	①教科書と配布資料の振り返り ②関連する情報の収集 ③ICT教材の日常的な活用	55分
第5回	テーマ 内容	◎こども食堂に関するPR活動及びイベント企画（ディスカッション, ICT）	
	授業外学習	①教科書と配布資料の振り返り ②関連する情報の収集 ③ICT教材の日常的な活用	55分
第6回	テーマ 内容	◎領域「健康」を基にした、多様な視点からの育みたい資質・能力の育成支援①:特別な配慮を必要とする子ども達（グループワーク, ディスカッション）	
	授業外学習	①教科書と配布資料の振り返り ②関連する情報の収集 ③ICT教材の日常的な活用	55分
第7回	テーマ 内容	◎領域「健康」を基にした、多様な視点からの育みたい資質・能力の育成支援②:多様性理解（ディスカッション, グループワーク）	
	授業外学習	①教科書と配布資料の振り返り ②関連する情報の収集 ③ICT教材の日常的な活用	55分
第8回	テーマ 内容	◎領域「健康」を基にした、多様な視点からの育みたい資質・能力の育成支援③:共生社会（ディスカッション, グループワーク）	
	授業外学習	①教科書と配布資料の振り返り ②関連する情報の収集 ③ICT教材の日常的な活用	55分
第9回	テーマ 内容	◎領域「健康」を基にした、多様な視点からの育みたい資質・能力の育成支援④:包括的性教育（ディスカッション, グループワーク）	
	授業外学習	①教科書と配布資料の振り返り ②関連する情報の収集 ③ICT教材の日常的な活用	90分

第10回	テーマ 内容	◎“ゆるスポーツ系創作運動あそび”①:概要理解及び実施体験 (ディスカッション, グループワーク)	
	授業外学習	①教科書と配布資料の振り返り ②関連する情報の収集 ③ICT教材の日常的な活用	55分
第11回	テーマ 内容	◎“ゆるスポーツ系創作運動あそび”②:課題設定及び情報収集 (ディスカッション, グループワーク, ICT)	
	授業外学習	①教科書と配布資料の振り返り ②関連する情報の収集 ③ICT教材の日常的な活用	55分
第12回	テーマ 内容	◎“ゆるスポーツ系創作運動あそび”③:プログラムのブラッシュアップ (プレゼンテーション, ディスカッション, グループワーク, ICT)	
	授業外学習	①教科書と配布資料の振り返り ②関連する情報の収集 ③ICT教材の日常的な活用	55分
第13回	テーマ 内容	◎“ゆるスポーツ系創作運動あそび”④:全体発表 (プレゼンテーション)	
	授業外学習	①教科書と配布資料の振り返り ②関連する情報の収集 ③ICT教材の日常的な活用	55分

課題に対するフィードバックの方法

- ◎学生から寄せられた質問や感想等は、必要に応じて授業中に全学生に対しその内容を伝え解説を加える等の対応を行っている。
◎授業内課題およびレポート等は、翌週以降にコメントを付けて返却する。

2025年度 和泉短期大学 シラバス					
授業科目名 科目ナンバー	保育内容の総合的指導法「健康」		教員氏名	井狩 芳子	
	Ⅲ-6-2-2 ①				
学年	1年		開講学期	後期	
授業形態	演習		単位数	1単位	
必修・選択	保育士・幼児必修		実務経験		
テーマ	領域「保育内容『健康』」の内容について、子どもや保護者への定着を図るための方途を模索し習得する				
ディプロマ ポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				○
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラム ポリシー	科目群Ⅰ：教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			
	科目群Ⅱ：原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群Ⅲ：知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			○
	科目群Ⅳ：実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	1. 「保育内容『健康』」の学びを踏まえ、①構想と実践方法の理解 ②教材研究 を経て、③幼児期終盤に、その獲得が期待される“10の姿”を念頭に実践力の習得を目指す 2. 実践力習得の際、子どもの支援の一環として、「①あそび活用 ②気付きの掘り起こしと知識の伝え合い ③生活場面の活用」を主眼に、保護者支援の視点も養う 3. ICT教育の3つの視点を踏まえ「①資料収集 ②授業内活用 ③子ども/園/保護者の活用」の概要を習得し、その情報を基にしなが、現場で活用できる保育教材の提案や指導法の立案などを、個人または共同/協働で学習する 4. さらに、様々な要件を持つ子どもや保護者への対応も念頭に、学生の体験・ICT教育・グループワークの機会をとおして学びを深め、保育内容「健康」の視点から「保育の計画の立案・実践・評価・改善」が可能な力の習得を目指す 5. 座業の隙間時間を活用し、チョコッと室内遊びの体験				
授業の到達目標	1. 本授業の意義・ねらい・内容の概要把握と養成校在生として自身の健康管理を実践できる。				
	2. 健康課題の把握と保育者の役割認識を踏まえ、対応ができる。				
	3. 基本的生活習慣の習得や健康・安全な生活を営む力を養うための具体的指導法を学び、実践できる。その際、子どもの年齢/個別対応、保護者支援/地域支援への必要性に気付き、積極的に配慮できる。				
	4. 「3」の保障の為に、保護者と保育者、地域の各機関との協働が必要なことに気付き、その視点を述べられる				
	5. 自身の健康課題を省察し、自律した社会人として行動できる。				
テキスト	演習 保育内容健康 萌文書林 2025 井狩芳子著				
参考書	①厚生労働省「保育所保育指針」 ②文部科学省「幼稚園教育要領」 ③内閣府「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 ④文部科学省「幼児期運動指針」 ⑤農林水産省「食育基本法」 *その他、各関連科目の教科書				
ポートフォリオ	授業中に指示する				
往還型授業 (双方向授業)	授業毎にワークを取り組み提出し、後日の返却の際、再度の学びの定着をおこなう				○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				○
	ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○
	その他： 輪番でテキストや課題を読んだり、グループワーク後にプレゼンテーションを実施する				○
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験	0	実施しない		
	授業内課題 参加度 出席態度等	100	①授業への積極的参加:50% ②課題への積極的取り組み:50%		
	その他		アリーナ等で運動あそび体験をする際は、運動あそびに適した服装と靴を着用する。未着用の者は安全の視点から実技参加を不可とする		

授業概要と課題			
第1回	テーマ 内容	・後期オリエンテーション ・戸外遊びとは・・・①“冒険あそび”の概要を知り、プレーリーダーの必要性の認識 (NPO法人KIDSとの協働事業) ②自身の子ども期のあそび体験振り返り	
	授業外学習	<予習>①シラバス通読 ②教科書第6章p. 77～79の通読 <復習>配布資料と教科書該当部分の再通読	55分
第2回	テーマ 内容	・戸外あそび見つけ(教室集合⇒淵野辺公園)・・・①戸外散歩に係る概要把握と体験 ＊雨天時は別メニューを検討	
	授業外学習	<予習>①教科書第15章の通読 ②当日の服装や靴は、活動に適した物を事前に準備する <復習>戸外活動の機会を利用し、マップ作成をおこない、見やすいマップの工夫をする ※指定した写真をグーグルクラスルームから提出する	55分
第3回	テーマ 内容	・お散歩マップの作成(PC活用) ワーク:①体験内容の記録と省察 ②安全管理と安全教育	
	授業外学習	<予習>散歩内容を踏まえ、作りたいマップを事前イメージしておく <復習>冒険あそび場や諸活動に積極的に参加し、経験やその気づきを生かす	55分
第4回	テーマ 内容	・お散歩マップの相互鑑賞 ワーク:①体験内容の記録と省察 ②安全管理と安全教育 ③地域連携事業	
	授業外学習	<予習>教科書第13章p. 162～176の通読 <復習>自身の保育者観の確認と、必要に応じた修正等	55分
第5回	テーマ 内容	・協応動作を支える運動機能の概要把握(ヒトの動きを支える36の基本の動作) ワーク:①36の動作の認識 ②36の動作を保障する運動あそびとは	
	授業外学習	<予習>教科書第8章の通読 <復習>配布資料と教科書第8章の再通読	55分
第6回	テーマ 内容	・乳児期の運動あそびの概要把握と援助の視点・・・視聴覚教材視聴 ワーク:保育園で活用したいベビーサイン	
	授業外学習	<予習>教科書第14章の通読 <復習>配布資料と教科書第14章の再通読	55分
第7回	テーマ 内容	・幼児期の協応動作獲得を促す運動あそび紹介と援助法(その1:新聞紙) 於:教室 ワーク:①「本授業体験記録」記入 ②折り紙 ③運動あそびの用具作り	
	授業外学習	<予習>当日の活動に適した、服装や靴の事前準備 <復習>①活動内容の記録と復習	55分
第8回	テーマ 内容	・協応動作獲得を促す運動あそび紹介と援助法(その2:新聞紙) 於:体育館 ワーク:運動あそび体験と援助(指導法)の記録	
	授業外学習	<予習>当日の活動に適した服装や靴の事前準備 ❶準備不足の場合は、安全上の視点から 実技参加は認めない <復習>①活動内容の記録と復習	55分
第9回	テーマ 内容	・協応動作獲得を促す運動あそび紹介と援助法(その3:用具不要) 於:体育館 ワーク:運動あそび体験と援助(指導法)の記録	
	授業外学習	<予習>当日の活動に適した服装や靴の事前準備 ❶準備不足の場合は、安全上の視点から 実技参加は認めない <復習>①活動内容の記録と復習	55分

第10回	テーマ 内容	・食品(特に野菜類、加工品等)に係る、地産地消を知る・・・JA相模原ベジタベーター見学(予定)*地域連携事業	
	授業外学習	<予習>教科書第13章p172～176通読 <復習>自身の食生活の振り返り	55分
第11回	テーマ 内容	・立体視力測定 ・各ワークの振り返り(提出)	
	授業外学習	<予習>①教科書第6章の通読 <復習>①各あそび体験、立体視力測定体験をとおり、あそび体験と心身の各機能の発達を再認識し、②自身の日常生活全般の振り返り、③少しずつ、保育者の使命を醸成していく	55分
第12回	テーマ 内容	・”幼児の食育に関する、SDGSを踏まえた年間プログラム”作成 ☛未提出者は再試験の対象とする	
	授業外学習	<予習>”ふれあい体験等”も思い出しながら、教科書13、15章に目をとおり、園の年間スケジュールのイメージをもつ <復習>実習先の園の食育に興味関心を持ち、知りえた内容を今後に生かす	55分
第13回	テーマ 内容	・日本版SDGSと子どもの健康課題 ・課題提出	
	授業外学習	<予習>第13回ワーク SDGSの事前把握 <復習>①「保育内容『健康』/指導法『健康』」の課題醸成 ②自身の健康課題の評価と展望	55分
課題に対するフィードバックの方法			
・各授業の後半で当該授業に関するワークを実施し回収。翌週以降に返却し、授業の最初に解説をしてフィードバックを図る			